

防ごう!農作業事故

地域活動マニュアル



平成23年3月

農林水産省

目次

はじめに	2
まずやってみよう	4
1. 地域活動の実践	16
1.1. 現状把握・認識	20
1.2. 事故の予防	24
1.3. 万が一、事故が起きたときのために	38
2. 農作業事故の傾向把握	42
2.1. 事故情報の収集	44
2.2. 収集した事故情報の整理	50
2.3. 事故の原因の調査	52
3. 推進・協力体制づくり	54
3.1. 都道府県下における体制・仕組みの現状把握	56
3.2. 各活動主体が担う役割	58
3.3. 小集団における推進体制づくり	62
4. 地域活動の管理	66
5. モデル地域の活動紹介	68
5.1. JA山梨中央会	69
5.2. 佐賀市担い手育成総合支援協議会	72
5.3. JAえちご上越	76
5.4. JA壱岐市	81
5.5. 高萩市農業機械士協議会	83
5.6. JA菊池 労災保険加入組合	85
参考情報一覧	88

はじめに

本マニュアルの用途・目的

このマニュアルは、全国の農作業安全の指導者のみなさんを対象に、農作業安全の地域活動を始めたり、活発化を図ろうとする際に参考としていただくよう、作成したものです。

『地域活動』とは？

このマニュアルでいう『地域活動』とは、集落や専門部会など、小集団における農作業安全の活動を意味します。

なぜ『小集団』による活動なのか？

農作業事故を減らしていくには、農業者一人ひとりの安全に関する意識・知識を高めていくことがポイントとして挙げられます。
人と人のつながりを生かすことができる『小集団』での活動は、農業者一人ひとりに対し、漏れなく効果的に働き掛け・啓発することができると考えられるからです。

このマニュアルは、自治体やJAの職員、集落・部会のリーダーなど、さまざまな組織・団体、階層の方が手にすると思いますが、

- ① 自治体やJAの方は、小集団において農作業安全に自主的・積極的に取り組んでもらうために何をすべきか？
- ② 集落・部会の方は、営農・生活を共にする仲間が農作業事故に遭わないようにするために何をすべきか？

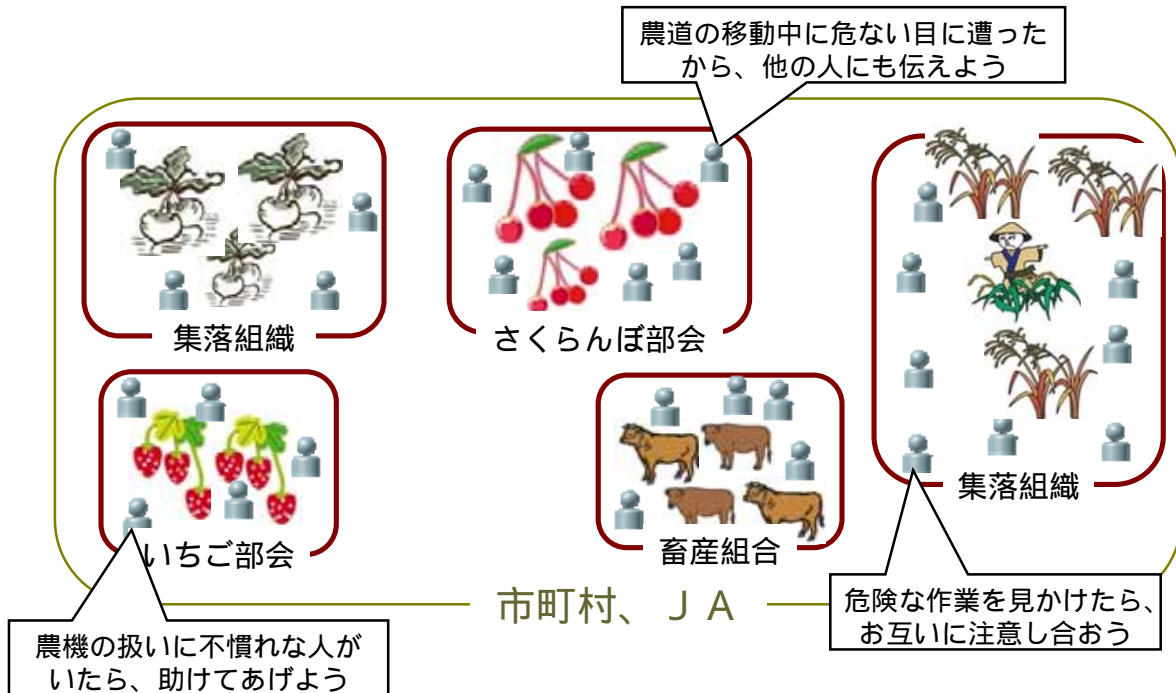
という目線で読んでいただきたいと思います。また、読んだ内容をぜひ実践していただきたいと思います。

なお、活動のやり方、進め方は地域の特性によって千差万別ですので、本マニュアルの記載内容に縛られる必要はありません。また、本マニュアルの記載事項すべてがみなさんにとっての正解になるとは限りません。答えを見つけるのはあくまでもみなさんです。本マニュアルはその手助けをするに過ぎません。

ただ、指導者のみなさんに一つお願いしたいのは、まずやってみようという発想で、行動を起こして欲しいということです。

地域活動とは？

「地域活動」とは、地域で既に組織されている集落、専門部会、生産組合などの小集団の単位で、不安全な作業をお互いに注意・指摘し合ったり、事故につながる情報を共有し合うなど、地域で一丸となって農作業事故の防止に取り組むことを意味します。



なぜ『小集団』による活動なのか？

